

同窓会だより



埼玉県立越谷南高等学校同窓会事務局

埼玉県越谷市川柳町6丁目220番地 TEL 0489-88-5161

Vol. 3 (1997年9月1日発行)



「あの頃のよう」

第十一回生
久保山 勇

南高野球部OBとして、今年程、暑い夏はありませんでした。

春の県大会で、あれよあれよという間に勝ち進み、念願のベスト4に進出。惜しくも関東大会には出場できませんでしたが、もしかして今年の夏は…。胸が高鳴りました。

夏の暑い日も冬の寒い日も、バットを振りボールを投げ、休みの日でさえ練習、試合を繰り返した日々が想い出されます。野球の事だけを考えていたあの頃。今年の部員も自分と同じ日々を送ってきたのか(?)と思うと応援せずにはいられません。恐らく、先輩、後輩、同期のみんなも同じ気持ちで見守っていたと思います。野球部に入部し、硬球を握り締めた時、「甲子園へ!」の想いを熱く心に誓ったあの時の自分。チームメイトの姿が、南高の土のグラウンドをバックにして、目の前に浮かんできました。是非、夏の予選を勝ち抜いて行って欲しい。あの大きなアルブススタンドで声の限り応援したい!。今年の夏はいつもの夏とはちょっと違いました。

結果は、みなさんご存知の通りあと一步で甲子園出場は叶いませんでした。とても残念でしたが、南高OB、野球部OBとして誇りに思つと共に、ずっと忘れていた熱い想いを、甦らしてくれた事に感謝します。

大人になった今もあの頃のよう熱く燃える何かをずっと持ち続けていた、そんな風に感じました。

最後に越谷南高校の一層の発展と皆様のご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

最後に越谷南高校の一層の発展と皆様の

ご健康とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

「南高は今」



学校長
堀澤秀夫

会員の皆様にはそれぞれの分野でご活躍のこととお喜び申上げます。

本校は、創立二十周年をひとつの節目として新たな発展期に入りました。

「君たちの明日。南の風、ハレ」を掲げ、生徒一人ひとりの個性を伸ばす教育活動を日々展開し、着々と成果をあげております。国際交流では、昨年十一月にオーストラリア・ロバートタウンソン高校生を迎えて、友好親善をはかりましたが、今年七月には、三十四名の生徒が同校を訪問し現地で十四日間のホームステイを体験し、交流を深めました。この相互交流は、生徒のコミュニケーション能力の向上と積極性のある人間づくりに役立つものと期待しています。

進学校は部活動も活発です。今後共、活動力のある文武両道の学校づくりを生徒、教職員が一体となって取り組んでおりまます。

進路の面では、平成七年度大学現役合格率五十八%と県公立高校中、第八位、平成八年度は五十四%と健闘しました。課題としては、進学の質的向上と幅広い分野への基礎学力と実力養成に進学講習を積極的に進出と考えます。各学年共、授業を重視し、

願いし、皆様のご支援、ご協力を心よりお上げ、本校の近況報告とさせていただきま

思い出の先生

校長としての青春時代

加藤 博

私は、昭和53年4月から60年3月までの7年間、初代金沢校長の後をうけ二代目として勤務しました。暫く昔話をすることになりますが、越谷南高というと、先ず脳裏に甦るのはあの人、この人というように共に苦勞し、或いはお世話になった先生方やPTA・後援会の皆様方の懐しい面影の数々です。そして田園の中の学校への自転車通勤の途中、特に冬眺めた富士のあざやかな姿です。

7年間には様々な事がありましたが、着任のその年に5周年式典、続いて10周年式典も行うことになり、卒業生は第3回から第9回まで送り出しました。このように長い同一校勤務は大変珍しいことで、今では貴重なよい経験をさせてもらつたと思っています。その中から授業や生活指導、部活動といった教育活動はさて置き、二つほど思い出を語ることにします。

その一つは、学校経営の目標として掲げた「生徒に夢を、教師に希望を、学校に特色を」というスローガンのことです。私自身若かったこともあってかなり積極的に抱負を語つたつもりですが、当時から恥かしいものがありました。当時の評判は香しいとはいえず、それだけに学校再建のための切羽つまつた思いが込められたものでした。幸い多くの先生方のやる気を結集

し、保護者の全面的協力をいただけたことを心より感謝しております。

今日一定の評価やよい評判を耳にする度に、當時思い出し、喜びも一入深いものがあります。

次にあげるとすれば、生徒ホール建設や第二グラン（四千坪）の拡張のことになりますが、越谷南高というと、先ず脳裏に蘇るのはあの人、この人というように車通学百パーセントの本校にせめて食堂・集合場・合宿所ぐらのゆとりがほしいとかはありました。莫大な醸金により出来上った時（県下で一番目、同期校で最初）どんなに感謝したことでしょう。

また、第一グラン（四千坪）は県費でいち早く昭和五十七年に完成しました。これで野球とサッカーの練習が安心して同時に出来るようになりました。この時、PTAや後援会の会長さんと地権者との交渉に当たり、夜間訪問など初めて不動産屋のような経験もしました。

最後になりましたが、卒業式で必ず述べたこと——学校のよき想い出は先生や友達との深い結びつきの中にこそある——を思い出を語ることにします。

その一つは、学校経営の目標として掲げた「生徒に夢を、教師に希望を、学校に特色を」というスローガンのことです。私自身若かったこともあってかなり積極的に抱負を語つたつもりですが、当時から恥かしいものがありました。当時の評判は香しいとはいえず、それだけに学校再建のための切羽つまつた思いが込められたものでした。幸い多くの先生方のやる気を結集

います。従つて、越谷南高校を転出してから、十年以上の月日がたつたことになります。

さて、現在勤務している大宮東高校は、越南でいうと、ちょうど創立10年くらいの時期であります。そして、この時期は、当時下降気味であった越南が、上升気流に乗れるか乗れないかの実に実に大切な時期であります。そんなこともあって、越南の将来について何人かの先生方とすいぶん議論をしました。中でも、当時勤務されていた二人のK先生方には、いろいろな指導・助言等をいただき、たいへん勉強になりました。

二人のK先生のお考えは、要約すれば、これからは学年主任を含め、学年集団をできるかぎり若くし、その若い力を結集して一気に上升気流にのせてしまおう、というものでした。そこで学年集団をこうするかということになつたのですが、不運にも（？）、私が学年主任の候補となつてしましました。私は、当時、卒業生を出したばかりで、次年度は副担任としてのんびりできるはずでした。結局、いろいろな裏工作（？）を経て、私が学年主任をやり、若手で固められた新学年がスタートすることになりました。幸い、友人のS先生が強力な助っ人として学年スタッフに加わり、また、個性あふれる若い先生方に恵まれて、どうにか上昇気流に乗せることができました。

最後に、越谷南高校のさらなる飛躍を祈念し、この拙文を終えることと致します。

ようこそ 南校へ

「母校は今」

教頭 織本 重道

さて、本校は、今年、創立二十四年目を迎えました。百年をひと区切りとすれば、まさに青年期の真っただ中といえます。大学への進学等の面でも、部活動の面でもかなりの実績をあげ、また生活指導がしっかりと行われているということからも、地域から信頼される学校となりました。いわゆる進学校の仲間入りをした、あるいは仲間入りができるような所に位置しているといえます。ただ、確固とした地位を築いたというにはほど遠く、先生方が生徒の持てる力をぎりぎりまで引き上げてここまで来たという所です。従つてちょっと気を抜けばすぐ転落してしまう脆さもあります。

私がかつて勤務した学校での話ですが、卒業生が、「最近学校の評判が良くなつたので、私は○○高校の出身ですと言えます」といいました。「と言うのです。私は越谷南高校の出身です」と胸を張つ

平成8年度部活動報告

1997年9月1日

同窓会だより

<p>(バドミントン部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国民体育大会 少年男子 小吹公彦 準優勝 ○全国高校総体 男子シングルス 小吹公彦 ベスト8 ○全日本ジュニア選手権 男子シングルス 小吹公彦 ベスト16 ○第10回ジャカルタオーブン 男子ダブルス 小吹公彦 3位 <p>(陸上部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○全国大会 ハンマー投 小坪智之 3位 走高跳予選 円崎政志 三段跳予選 菅野彰俊 <p>(サッカー部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東部大会新人戦 準優勝 ○関東高校サッカー大会埼玉県予選 県ベスト16 <p>(野球部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○夏季大会(県大会) 3回戻進出 ○越谷市内大会 準優勝 ○県新人大会 ベスト32 <p>(男子テニス部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区団体戦 優勝 <p>(学総大会)</p>	<p>(女子テニス部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学総大会(県大会) 团体 ベスト16 <p>(男子バスケットボール部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関東大会東部地区予選 2回戦出場 ○インターハイ東部地区予選 ベスト12 <p>(女子バスケットボール部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関東大会東部地区予選 ベスト12 <p>(男子ハンドボール部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○東部地区秋季大会 ベスト16 ○東部地区春高ハンドボール予選 ベスト16 <p>(女子ハンドボール部)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○関東大会県予選会 出場 ○インターハイ県予選会 出場 	<p>団体 ベスト16 ダブルス 鈴木・外山 ベスト16 シングルス 小川智道 ベスト32 16</p>
---	---	---



(初めての県ベスト8入り)

VOICE BOX

運動部だけじゃありません。文化部も頑張ってます！

第21回全国高等学校総合文化祭

奈良大会出展 美術・工芸部門
3年 坂本良太 「シマウマ」
奈良県立美術館8／7～8／10

石膏と金属を材料を使った理由を聞かれたら「私の感覚がそうさせた。」と答える。ただ本能で感じて欲しいのだ。

(坂本良太)



平成8年度同窓会より

贈呈品

- ① ダスキンマット
- ② 卒業証書入れ
- ③ 部活動激励賞
- ④ 進路コンピュータなど
- ⑤ 外用トイレ

同窓会事務局よりお知らせ

来年平成十年二月に創立二十五周年記念名簿を発刊致します。名簿のご購入、広告への御協賛をよろしくお願い致します。お知り合いの異動情報等ございましたら、事務局までご連絡下さい。

開会 午前11時 **会場** 母校会議室

9月14日(日)

「平成9年総会のお知らせ」

- 先着100名様に記念品を贈呈いたします。
- 当日は南高祭も行っています。